

今ここが聞きたい

9月7日、5議員が一般質問を行いました。

一般質問は、町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針などを幅広い視点から報告や説明を求め質問します。

議員の質問できる時間は、1時間以内です。

議事録の内容は、町のホームページと議会事務局で閲覧できます。

4 ページ

近藤 聖 議員

- ①新しい橋のキャッチフレーズについて
- ②新しい橋の名称について

5 ページ

山崎 邦廣 議員

- ①通学路の安全充実について

6 ページ

遠藤 裕樹 議員

- ①障害者福祉の現況と取組みについて

7 ページ

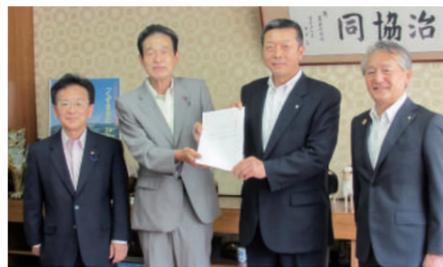
姉帯 春治 議員

- ①森林整備について

8 ページ

柴田 勇雄 議員

- ①五日市小学校校庭の不具合遊具等と栗山地区の子供遊び場の管理状況について
- ②町道及び国道等の整備促進について
- ③町ホームページの防災カメラ情報の不具合について



町長に意見書を提出する監査委員

監査委員の意見
2年度決算はすべての会計が黒字となった。歳入では、町税などの収入未済額は、前年度に比べて減少しているが、今後

の徴収の取り組みに対する創意工夫を求める。
地方税法に基づいた不納欠損処理も行っているが、滞納が長期にわたっているものもあり、徴収を基本としながら、事案により適切な対応をされたい。
2年度は、新型コロナウイルス感染症対策のほか、定額給付金事業、ワクチン接種の計画・準備など前例のない業務が多かったが、スピード感を持って進められ、住民の安心感へとつながった。
平成27年、県内で初め

て葛巻高校に山村留学制度が導入され6年が経過した。留学生も年々増加の傾向にあり、令和2年度は過去最多の16人が入学した。また、無料で通える「町営学習塾」と連携することで、国公立大学への進学者は小規模校として他に類のない増加の傾向にある。
ワクチン接種は全国的に進んできているものの、変異株の出現などで出口の見えない状況にあるが、町勢発展と町民福祉のさらなる向上を実現されることを切望する。

財政健全化判断比率は「健全」を維持

「財政健全化法」に基づく2年度の一般会計・特別会計の決算、及び第3セクターなどの決算を含めた各指標は、いずれも基準を下回りました。

健全化判断比率

各指標 (早期健全化基準)		2年度	元年度	比較
実質赤字比率	(15%未満)	赤字なし	赤字なし	-
連結実質赤字比率	(20%未満)	赤字なし	赤字なし	-
実質公債費比率	(25%未満)	8.4%	7.6%	0.8
将来負担比率	(350%未満)	5.5%	なし	皆増

資金不足比率

経営健全化基準は20%未満で、対象となる農業集落排水事業の資金不足は発生していません。

100億円超の大型決算認定

新庁舎建設やコロナ対策進む



順調に進む新庁舎建設工事

9月定例会議

9月定例会議は、9月3日から10日までの8日間の日程で行われました。町長から提出された議案は、2年度会計の決算認定のほか3年度補正予算など15議案で、全議員の賛成で原案どおり「決定」しました。
一般質問は5人の議員が登壇し、町の対応や考えをいただきました。

支出は
前年度比で26億円増

2年度の全会計の総支出額は、100億1259万円です。前年度は99億8650万円、前年度比26億388万円、35・7%増加しました。
一般会計の支出額は、88億7409万円です。前年度は86億2653万円、前年度比26億486万円、30・8%増加しました。
新庁舎建設事業やコロナ対策の定額給付金事業などが主な要因です。
三つの特別会計の支出総額は11億3850万円です。前年度は10億9100万円、前年度比4650万円、4・3%増加しました。
地方債は前年度比9億8451万円、12・8%増加しましたが、純繰越金等を活用した財政健全化の取り組みも行っていきます。

一般会計決算の詳しい内容は、12〜13ページをご覧ください。

2年度決算の状況

会計名	収入	支出
一般会計	96億6898万円	88億7409万円
特別会計	国民健康保険事業	8億6338万円
	農業集落排水事業	1億9587万円
	後期高齢者医療事業	7925万円
合計	108億5987万円	100億1259万円